

## 神奈川県・国史跡小田原城跡及び滋賀県・特別史跡彦根城跡における学校施設等の整備状況に関する教育委員視察結果概要

日 時：平成 23 年 8 月 8 日（月）8：20～15：30

場 所：神奈川県・国史跡小田原城跡（私立旭丘高等学校ほか）及び滋賀県・特別史跡彦根城跡（県立彦根東高等学校ほか）

視 察 者：鳥取県教育委員会 笠見委員長、坂本委員、横濱委員（教育長）

概 要：国史跡鳥取城跡に所在する県立鳥取西高等学校の整備について、「同校整備のあり方検討会」の検討結果とりまとめ（近く報告予定）を踏まえて、具体的な検討を行うために参考となる事例について現地視察が行われたもの。

### 【国史跡・小田原城跡】（ 史跡関係 学校等整備）

後北条氏により拡張・整備された日本最大級の中世城郭（豊臣秀吉の小田原城攻めで有名）と、徳川幕府の下で江戸に対する東海道筋の関門として大久保、稲葉氏ら幕閣クラスの大名家の居城であった近世城郭からなる 2 重の城郭構造は、鳥取城跡とも類似する

昭和 13（1938）年には近世城郭と総構の一部が国史跡に指定。戦後は天守閣復興（RC 構造）を契機に順次史跡の追加指定が行われ、発掘調査成果に基づき、住吉堀、銅門、馬出門が復元整備されるなど二の丸大手筋の史跡整備が進められている。

本丸にあった動物舎は撤去が進んでいる。

今年度から、臨時駐車場として使われていた御用米曲輪の史跡整備が開始

二の丸にあった県立城内高校（昭和 37 年）、城内小学校（平成 7 年）は指定地外へ移転している。城内小学校を併合した三ノ丸小学校（指定地外）は、史跡の景観に配慮したデザインを採用。また、城内小学校講堂（近代の歴史的建造物）は保存され、「小田原城歴史見聞館」として利用されている。

平成 10 年に現状変更許可を得て校舎改築した私立旭丘高等学校は、弁財天曲輪・蓮池等、近世小田原城の主郭部分から外れた位置に立地している。

旭丘高等学校の改築は、蓮池部分に新築した校舎こそ杭打ちをしたものの、他の校舎は地下遺構を保護するベタ基礎工法や耐震補強、天守閣を望む景観を阻害していた校舎は 4 階 3 階に減築するなど、文化庁が主張している史跡保護の在り方に沿って努力している。

鳥取西高と違うのは私有地であることと、駅近くの立地が私立学校の経営に死活問題となること。

鉄道を挟んで尾根続きの中世山城の拠点である八幡山古郭に立地する県立小田原高校（今回改築して将来的に史跡指定）は、天守閣から遠望。

【国特別史跡・彦根城跡】( 史跡関係 学校等整備)

彦根城主・井伊家は、大老を6度も出した譜代大名筆頭の家柄で、最終的には35万石の大名。居城である彦根城は7国12大名に助役を課しての天下普請で築城された大規模な近世城郭。幕末期に日米修好通商条約・安政の大獄を断行し、桜田門外の変で暗殺された15代藩主井伊直弼などが有名で、ゆるキャラ「ひこにゃん」人気もあって観光地として発展している。

中堀より内側は、史跡よりさらに重要な特別史跡に指定されている。天守及び多聞櫓は国宝、太鼓門、天秤櫓などは重要文化財に指定されている。また、下屋敷であった玄宮楽々園は国名勝に指定されている。さらに彦根城は世界文化遺産の暫定リストにも登録されている。

彦根東高校は、内堀外の第二郭の上級武家屋敷が並んだエリアに位置しており、周辺の樹木に隠れて史跡の景観を大きく妨げているとまではいえない。この彦根東高校であっても移転を前提として耐震補強対応。

滋賀県教委としては史跡地外移転するという方針であるが、適当な移転先が見つからないのと県の財政事情から、仮設校舎を建て、教室棟2棟は耐震改修することとしている。芸術棟を新築するハンドボールコートは事前に発掘調査を行い、地下遺構を保護する工法での木造平屋建とした。史跡地内での建築面積は増やさない方針なので、プールを廃止するなどした面積をこれに宛てた。既に文化庁の現状変更許可が下りて、平成23年度中に着工予定。

同じ立地にあった私立近江高校は、昭和56年に指定外に移転している。

鳥取西高が位置している鳥取城三ノ丸(御殿・政庁)にあたる、二ノ丸には彦根城博物館が建設されている。外観御殿風のデザインとなっており、内部には表御殿の一部が復元され、一般公開されている。能舞台も整備されており、子供たちが能の稽古に励んでいた。



復元された小田原城二ノ丸大手筋「銅門」



復興天守閣（RC構造）



小田原城見聞館（旧城内小学校講堂）



八幡山古郭遠望（県立小田原高校が所在）



私立旭丘高校校舎減築により天守を望む



私立旭丘高校校舎



彦根城天守と熱中症対策



彦根東高校校舎



天守から同高校舎位置を望む



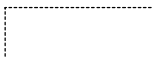



彦根城博物館 (二ノ丸跡)



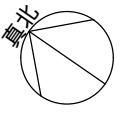
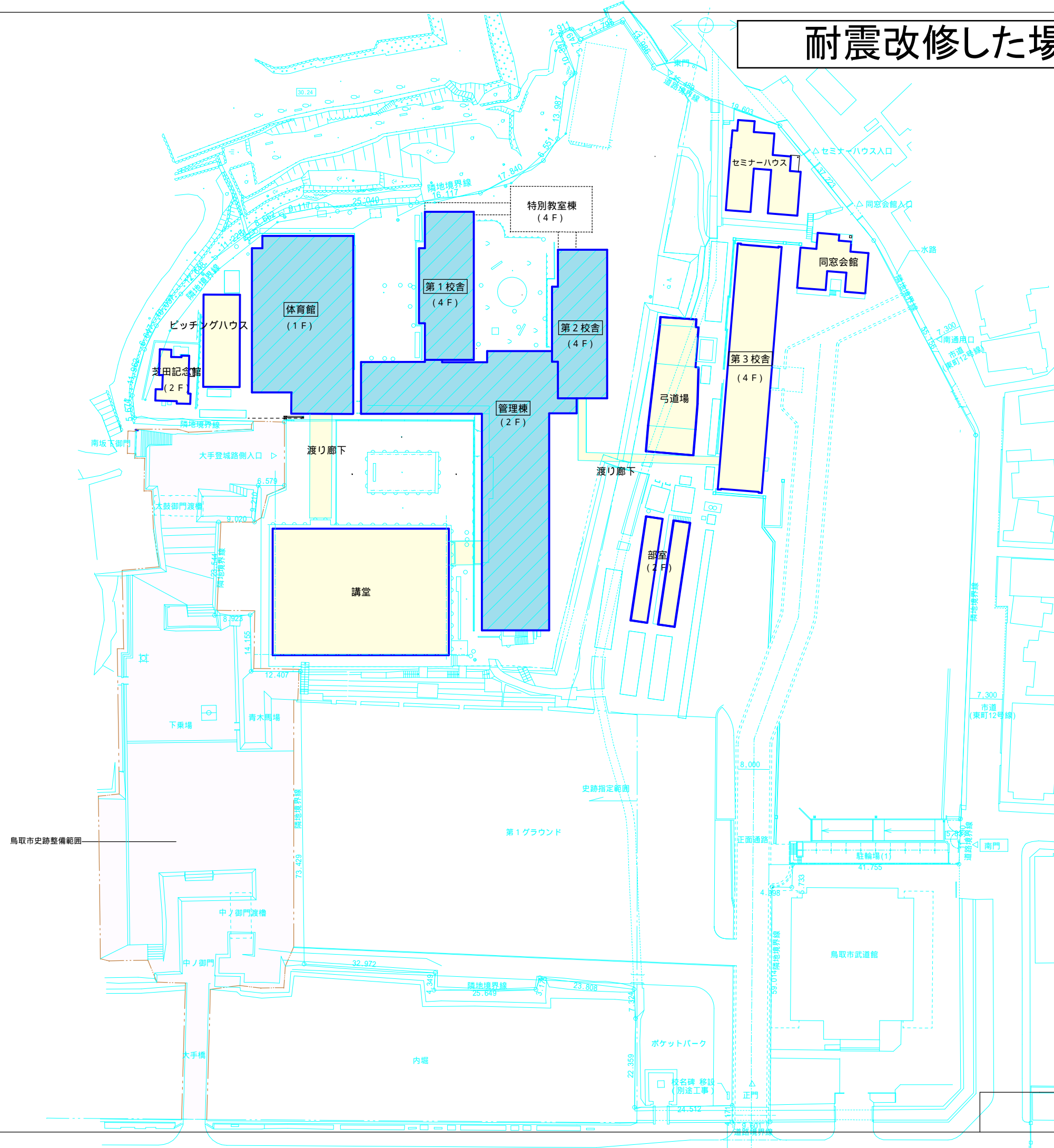
博物館内の能舞台での稽古

## 耐震改修のみ

-  耐震改修する建物
-  既存の建物
-  解体する建物
-  鳥取市整備範囲

### <基本となる改修>

- ・ 学校玄関を東側に変更
- ・ 玄関への簡易な通路を第2グラウンドに整備
- ・ 第3校舎を学校玄関に改修し、フル活用
- ・ 耐震改修に併せ、景観にマッチした外観に改修



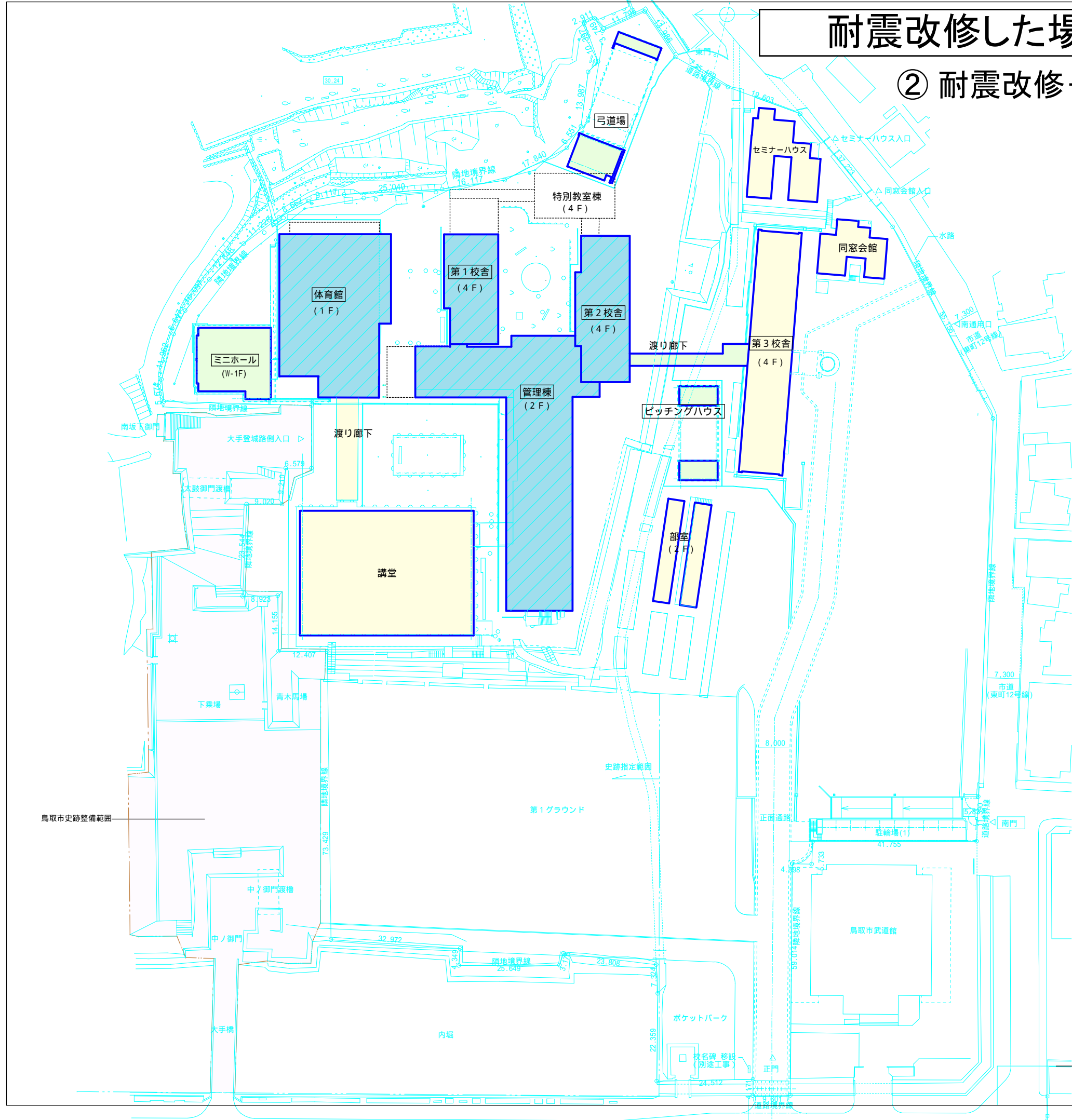
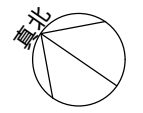
## ② 耐震改修＋教育環境の改善＋史跡への配慮

- 耐震改修する建物
- 改築する建物
- 既存の建物
- 解体する建物
- 鳥取市整備範囲

- <基本となる改修>**
- ・ 学校玄関を東側に変更
  - ・ 玄関への簡易な通路を第2グラウンドに整備
  - ・ 第3校舎を学校玄関に改修し、フル活用
  - ・ 耐震改修に併せ、景観にマッチした外観に改修

- <教育環境の改善>**  
(バリアフリー化)
- ・ 第2校舎～第3校舎の渡り廊下をフラットに(緊急通路の確保)
  - ・ 特別教室棟の撤去に加え、第1校舎、管理棟の一部撤去(当初案の活用)
  - ・ ミニホール(木造平屋)新築
  - ・ 弓道場、ピッチングハウス移設改修

- <史跡への配慮>**
- ・ 石垣管理道の設置
  - ・ 石垣の顕在化
  - ・ 史跡内建築物の減少



1 あり方検討会の検討結果項目

生徒の安全確保  
教育環境の改善  
文化財の保護  
文化財と学校の共存  
史跡外への移転

2 整備に当たっての具体的検討事項

( 1 ) 教育環境の改善

老朽化した施設設備や内装  
生徒の文化芸術活動等の充実  
バリアフリー化

( 2 ) 緊急車両の通路の確保

( 3 ) 災害時の避難所としての整備

( 4 ) 史跡との共存

史跡内の建築総面積の減少  
文化財の保護のための工法  
景観との調和  
石垣の顕在化と保守管理  
歴史学習の場としての活用  
史跡の県民への公開

( 5 ) 県産材の活用